

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会について

1. 背景・目的

豊島区教育委員会は令和元年度9月に「豊島区教育ビジョン2019」を策定し、基本方針7「家庭と地域の教育力の向上」を掲げ、その達成に向けた施策の一つとしてコミュニティ・スクール（以下、CS）の導入を推進することとしている。教育ビジョンに基づき、令和元年度からはCSモデル事業を池袋本町小学校と千登世橋中学校で実施している。

今後の展開にあたっては、モデル事業の取組の成果と課題の整理及び学校運営協議会やセーフコミュニティ、インターナショナルセーフスクールなど、本区の特徴を踏まえたCSのあり方を検討し、各校が円滑にCSを導入できるようにすることが必要である。

については、モデル事業の成果と課題を整理し、「豊島区の地域にあったCS」の検討と今後の円滑な拡大を実現するため、「豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会」を設置する。

2. 令和2年度「豊島区CS事業検討委員会」スケジュール

時期・回	検討内容
第1回 令和2年11月30日	検討委員会の設置趣旨、CS制度について、豊島区CSモデル事業について、CSの土台となる豊島区の取組について
第2回 令和2年12月21日	モデル事業の成果と課題の洗い出し
第3回 令和3年1月	豊島区の地域にあったCSと導入ガイドラインの検討①
第4回 令和3年2月	豊島区の地域にあったCSと導入ガイドラインの検討②

※ 導入ガイドライン・・・他の小中学校がCSを円滑に導入できるよう、進め方や留意点などをまとめたガイドライン